平成 25 年 9 月 20 日

国際石油開発帝石株式会社

ブラジル、フラージ鉱区における油漏洩事故について［第十二報］（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、関連会社のインペックス北カンポス沖石油㈱を通じて出資するブラジル現地法人 FJPL 社（Frade Japão Petróleo Limitada）により、ブラジル連邦共和国カンポス沖合のフラージ鉱区において石油の生産および開発作業を進めております。

本鉱区における 2011 年 11 月及び 2012 年 3 月の小規模な油のしみ出し事故について、ブラジル連邦検察当局より提起されていた 2 件の訴訟を終結するための合意書に署名したとの連絡をプロジェクトオペレーターのシェブロン社より受けましたので、お知らせいたします。

本鉱区については、上記の小規模な油のしみ出しを確認したことに伴い 2012 年 3 月より生産活動を自主的に一時停止しておりましたが、ブラジル国家石油庁およびブラジル環境・再生可能天然資源院からの承認を取得したのち、2013 年 4 月 30 日より生産を再開しております。

当社は今後もプロジェクトオペレーターのシェブロン社と連携しつつ、安全と環境に配慮した操業を実施してまいります。

「補足・関連情報」
ブラジル連邦共和国　フラージ鉱区　権益比率：
・シェブロン（オペレーター　本社：米国）　51.7%
・ペトロブラス（ブラジル国営石油会社）　30%
・Frade Japão Petróleo Limitada（FJPL）※18.3%
（フラージ ジャパン ペトレオ リミタダ）
※当社、双日株式会社および独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が設立したインペックス北カンポス沖石油株式会社のブラジル現地法人子会社

以上

【本件に関する問い合わせ】
国際石油開発帝石株式会社　　広報・IR ユニット　　03-5572-0233